

米沢市まちづくり総合計画

第2部 基本計画

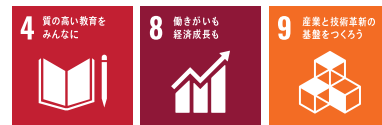
第1章

挑戦し続ける活力ある 産業のまちづくり

第1章 挑戦し続ける活力ある産業のまちづくり

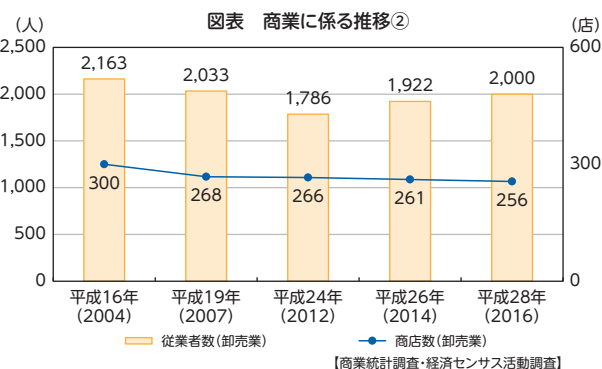
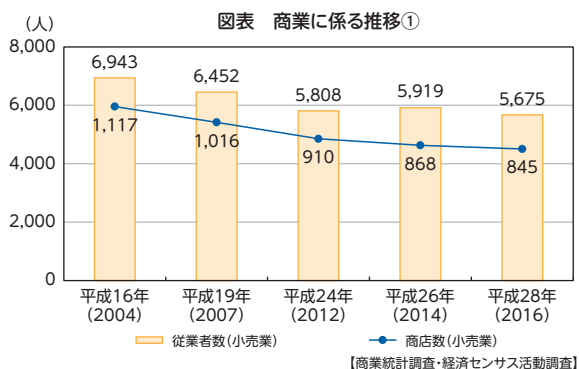
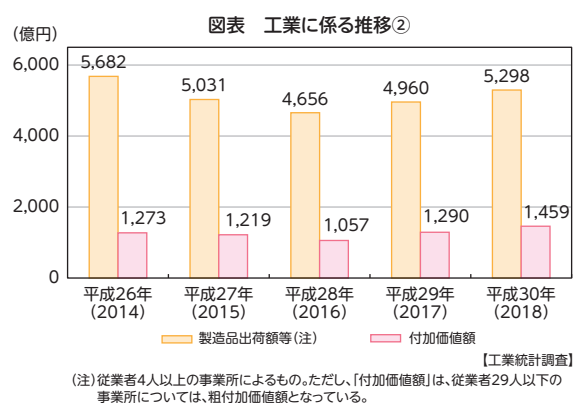
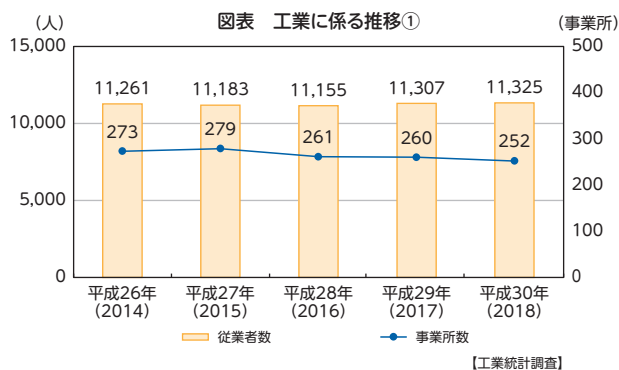
施策1-1

活力ある商工業の振興



現状と課題

- ◆ 本市の経済力の源である商工業は、人口減少等に伴う国内市場の消費低迷や経済の*グローバル化等の影響を受けて依然として厳しい状況にあります。
- ◆ 工業においては、製造品出荷額等(平成30年)が県内1位となっており、東北でも有数の産業集積地として、ものづくりのまちを形成していますが、付加価値率は県内の平均と比べて低い状況にあります。商業を取り巻く環境は、消費者の価値観の多様化、商業施設の郊外進出・大型化、インターネット販売の進展等により変化しているほか、地域の経済と雇用を支える市内企業の大多数を占める中小企業の事業所数が減少傾向にあります。
- ◆ 今後、地域の優位性を生み出しつつ、本市の商工業を振興していくためには、生産性向上に向けた支援や、大学の研究内容や地元企業の技術等を活かした*内発型産業の創出等による地域経済活性化や、地域内経済循環の促進等による経済活力の向上、支援機関の情報提供や国等の支援制度の活用等を促すことによる事業承継の推進等、地域に根差した企業を増やすための支援を強化していく必要があります。
- ◆ 本市への新たな企業の進出は、新たな産業や雇用機会の創出、市内企業との連携、適度な企業間の競争等を生み、地域経済の活性化に有効な手段となっており、本市の強みを活かすとともに、近年の産業動向を捉え、IT産業等の企業立地の促進及び創業(起業)への支援が必要です。また、企業の更なる投資を呼び込むための受け皿として、産業用地の確保が課題となっており、対応が求められています。
- ◆ 本市では、「挑戦と創造のあかし 米沢品質」をスローガンに、様々な分野での「挑戦と創造」を喚起し、米沢全体のブランド価値を高めていくため、平成30年11月から米沢ブランド戦略事業を本格的に運用開始しています。米沢のブランディングに賛同する運動体[*TEAM NEXT YONEZAWA]の登録数は159件(令和2年3月末現在)となっており、今後も登録拡大を進め、市民と共に米沢ブランドを育てていく必要があります。



施策の目指す姿

様々な分野での「挑戦と創造」を喚起し、市と市民が一体となって米沢全体の付加価値を高めていくことにより、新産業の創出や企業立地の促進等、商工業に活力が溢れるまちを目指します。

経営基盤の強化に向けた支援や人材育成、商工団体との連携強化により、既存商工業の経営の安定及び地域内における経済循環の向上等を図ります。また、企業立地を促進し、産学官金の連携等による新産業の創出や新たな市場開拓の支援・販路開拓に取り組んでいきます。

施策での取組

1-1-1 既存商工業の経営支援（中小企業の振興）

担当課：商工課

- ◆ *米沢市中小企業振興アクションプランに基づき、関係団体等と連携・協力しながら中小企業者の経営基盤の強化、経営革新の支援、ビジネスチャンスの機会創出等を促進します。
- ◆ 企業の販路拡大や人材育成に向けた支援施策を推進します。
- ◆ 市内中小企業者が提供する製品等の利用促進を図り、地域の経済循環に寄与します。
- ◆ 潜在的創業者の発掘と意欲ある経営者の育成を行い、商工業の経営支援を行うとともに支援機関の情報提供や国等の支援制度の活用等を促すことで事業承継の推進を図ります。

1-1-2 地域特性を活かした工業の振興

担当課：商工課

- ◆*有機エレクトロニクス産業等、次世代の成長産業への支援体制を強化します。
- ◆山形大学工学部や市内企業が保有する最先端技術の更なる活用や事業化に向けて、地域内外の企業との連携を強化し、事業展開を促進します。
- ◆山形大学工学部や山形大学産業研究所等の研究成果について、その事業化や市内企業への技術移転を推進します。

1-1-3 賑わいのある商業の振興

担当課：商工課

- ◆経営基盤の強化を図るため、経営指導体制の強化や金融支援制度の充実と合わせて、個店の魅力を最大限に発揮し、何度も訪れたいくなるような店づくりを支援します。
- ◆商店街組織と民間事業者の連携等により、商店街の地域*コミュニティ機能の強化を図ります。

1-1-4 米沢ブランドの強化

担当課：商工課、米沢ブランド戦略課

- ◆市民と共に「米沢ブランド」を育てる息が長く強い運動を推進することで、まちの力を総合的に高め、定住人口と*関係人口の拡大を図ります。
- ◆市内の企業それぞれが「挑戦と創造」の観点で自社の製品やサービス等の磨き上げを進めることで、内外の消費者に認められる本市独自のものづくりやおもてなしを促進します。

1-1-5 企業立地の促進と新産業の創出

担当課：商工課

- ◆米沢八幡原中核工業団地及び米沢オフィス・アルカディアに新たな企業の立地を促進します。また、本市の産業用地の確保に向けた検討・取組を実施します。
- ◆米沢オフィス・アルカディアの一部を研究開発施設誘致エリアとして位置づけ、山形大学工学部等と連携を図りながら研究開発型企业等の誘致に取り組みます。
- ◆大学の研究成果の事業化等による新産業創出に向けた取組を促進します。

1-1-6 新たな市場開拓の支援と販路拡大の促進

担当課：商工課

- ◆国内にとどまらず、海外を視野に入れた市場開拓を行い、市内企業による製造品等の販路拡大を促進します。

1-1-7 創業（起業）の促進

担当課：商工課

- ◆「米沢市創業相談窓口」を継続して設置し、創業検討段階から創業後のフォローアップまでの創業に対する総合支援体制を充実させます。
- ◆人材育成講座等の実施を通じて、将来本市の産業を支える人材の育成を支援します。

主な事業

商工業地域活性化支援事業、中小企業活性化事業、山形大学有機エレクトロニクスイノベーションセンター支援事業、商業活性化支援事業、米沢ブランド戦略事業、産業用地確保検討事業、繊維産業振興事業、米沢オフィス・アルカディア企業立地事業、創業支援事業、山形大学有機材料システム事業創出センター支援事業

市民・地域・事業者等に期待する役割

- **市 民** 市内中小企業者が提供する製品等を利用し、地域経済の循環を促進しましょう。
- **市 民** 最先端のものづくり技術や伝統産業を学びましょう。
- **市 民** 市民一人ひとりが米沢ブランドをつくり上げる一員であることを意識してまちづくりに参加し、米沢ブランドを高めましょう。
- **事 業 者** 地域住民の豊かな生活に向け、多様な消費者ニーズに対応した製品等の提供に努めましょう。
- **事 業 者** 大学等の技術を活用し、新たな産業分野への進出に取り組みましょう。
- **事 業 者** 「挑戦と創造」の観点で、自社製品等に新たな付加価値を創出しましょう。
- **事 業 者** 事業承継について、後継者の育成等に計画的に取り組みましょう。

目指す目標値（活動指標・成果指標）

No	成果指標名	現状値の年度	現状値	後期目標値(R7)	担当課
1	製造業付加価値額 (工業統計調査)(注1)	H30	1,465億円	1,650億円	商工課
2	山形大学の市内企業との共同・ 受託研究数	R1	19件 (単年)	延べ100件 (R3～R7延べ)	商工課
3	米沢八幡原中核工業団地利用率 (注2)	R1	95.1%	99.4%	商工課
4	米沢オフィス・アルカディア利用率 (注2)	R1	77.7%	87.4%	商工課
5	創業支援等事業計画に基づく 創業者数	R1	28人 (単年)	延べ120人 (R3～R7延べ)	商工課
6	*TEAM NEXT YONEZAWA 登録累計件数	R1	累計159件 (～R1累計)	累計340件 (～R7累計)	米沢ブランド戦略課

(注1)従業者4人以上の事業所によるもの(従業者29人以下は粗付加価値額)

(注2)利用率とは、利用面積／総面積で算出される面積ベースでの利用割合のこと。

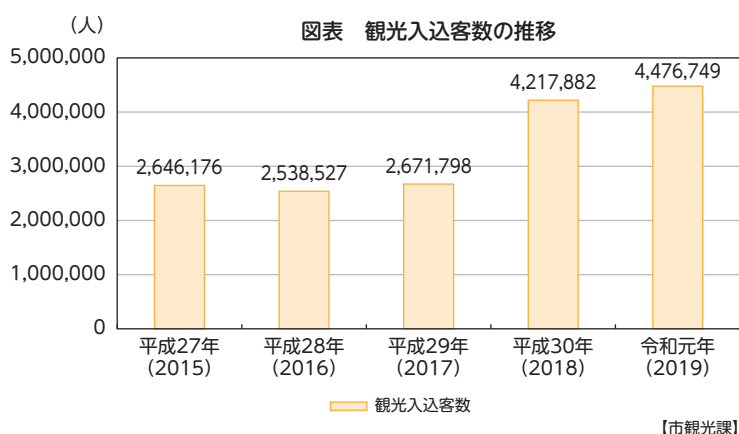


創業塾

【用語解説】 * TEAM NEXT YONEZAWA ⇒ P176

現状と課題

- ◆ 本市は、歴史的な名所・旧跡・文化財等が数多く残り、古くから歴史と文化のまちとして親しまれています。観光名所としては、上杉神社をはじめ、上杉家廟所等が広く知られています。特に上杉神社を含む松が岬公園周辺には、毎年多くの観光客が訪れており、県内有数の観光地となっています。平成30年4月には、*道の駅米沢が開業し、令和2年7月には来場者数が400万人を突破するなど、東北中央自動車道の開通と合わせて、本市の*交流人口は増加しています。交流人口の増加を、着実に地域経済の活性化につなげていくためにも、本市はもとより、置賜圏域内への周遊促進に向けた観光基盤づくりを着実に進めていくことが重要です。
- ◆ 今後、本市の観光振興を図るためには、旅行者のライフステージや趣味に合わせた体験型観光やまち歩き観光等の滞在時間を長くする取組や、市民との交流により観光客がまた来たいと思うような魅力あるまちづくり、城下町らしい景観づくりを進めていく必要があります。また、周遊パスポートや電動レンタサイクルの導入等により、二次交通環境の改善を併せて進める必要があります。
- ◆ さらに、国内において拡大する*インバウンド需要を本市にも取り込んでいくため、国際交流員を活用した情報発信や近隣市町との広域連携事業等、ソフト・ハード両面による多角的な取組を更に推進していくことも求められています。



施策の目指す姿

本市の多彩な観光資源の魅力を発信し続けることで、より選ばれる観光地米沢として国内外から多くの観光客が訪れるとともに、来訪者が満足できるおもてなしが充実したまちを目指します。

観光推進体制の整備を図るとともに、地域資源を活用した取組を推進します。また、より多くの観光客が訪れるよう誘客宣伝活動を推進するとともに、観光基盤の整備を促進します。

施策での取組

1-2-1 観光推進体制の整備

担当課：観光課

- ◆市内の観光関連団体等の組織強化と連携強化を推進します。
- ◆国内観光客に加え、増加する*インバウンド客にも応じた、おもてなしの心の向上のための啓発活動を推進します。
- ◆新型コロナウイルス感染症による観光ニーズの変化に合わせ、安心して旅行できる体制の整備を進めるとともに、近隣観光等を推進します。

1-2-2 地域資源等を活用した観光基盤の整備

担当課：観光課、農政課、都市計画課

- ◆本市独自の歴史と文化を活用し、城下町らしい景観整備を推進するとともに、*米沢四季のまつりや地域の伝統祭りの活性化を図ります。
- ◆集客力を高めるため、豊かな自然や温泉、伝統的な食文化等を活用した体験型の観光を充実するとともに、本市ゆかりのアニメや漫画等を新たに観光資源として活用します。
- ◆「*道の駅米沢」が持つゲートウェイの機能を活かして広域観光を推進するため、情報発信や魅力ある旅行商品の造成に取り組みます。
- ◆国内外からの様々な観光客を受け入れられるよう、多言語表記の案内看板の設置や観光施設の環境整備を推進します。

1-2-3 誘客宣伝活動の推進

担当課：観光課

- ◆多くの観光客に本市を訪れていただくため、国内各地での誘客イベントや、*おしよしな観光大使による誘客PRを継続していくとともに、ホームページや*SNS等を活用した情報発信や誘客宣伝活動を推進します。
- ◆来訪者の多様化するニーズを踏まえ、旅行業者等と連携し、魅力ある旅行商品の開発を推進します。
- ◆国際交流員を活用し、外国人目線によるインバウンド客の誘致促進及び受入環境の整備に取り組みます。
- ◆誘客策の一つとして、国内外の学会・大会・会議等の誘客を促進するとともに本市の歴史や文化等の観光資源を活用した参加者向けツアーの造成に取り組みます。

主な事業

道の駅米沢を中心とした広域観光推進事業、観光物産振興事業、インバウンド推進事業

市民・地域・事業者等に期待する役割

市 民 米沢の魅力である歴史と文化を学び、米沢の魅力を発信しましょう。

市民・事業者 *おしよしなのおもてなしをしましょう。

【用語解説】 * インバウンド ⇒ P177 * 米沢四季のまつり ⇒ P182 * 道の駅 ⇒ P182 * おしよしな観光大使 ⇒ P177
* SNS ⇒ P176 * おしよしな ⇒ P177

目指す目標値（活動指標・成果指標）

No	成果指標名	現状値の年度	現状値	後期目標値(R7)	担当課
1	観光入込客数	R1	4,476,749人	5,137,000人	観光課
2	温泉地(宿泊・日帰り)入込数	R1	111,052人	136,000人	観光課
3	外国人宿泊者数(注)	R1	5,788人	12,500人	観光課

(注)外国人宿泊者数は、暦年(1～12月)数値



米沢上杉まつり 川中島合戦



米沢上杉まつり 上杉軍団行列



和庭



温泉



道の駅 米沢



西吾妻山トレッキング